

市外予約専用スポット

滞走路を一望できるセントレア。子どもも大人も大興奮!! 施設内随所に授乳室も設けられていて、子連れには安心。冬のイルミネーションも楽しみたいですね。



Web版ふあまっぷ http://kosodate.city.nisshin.lg.jp/famap/index.htm

赤ちゃんとの 帰省&小旅行

赤ちゃん初めての帰省や小旅行はドキドキしますね。でも、赤ちゃん旅行等するとこんなことがあるんだ、こんなところに気をつけないと最初からわかっているママ、パパの気持ちに余裕が生まれるかも。ふあまっぷママの体験談を載せてみました。



車で6時間はOKだった

子どもが5か月のとき岡山に帰省。朝3時半に家出発。SAで一度授乳&オムツ替え、それ以外は寝てました。子どもの睡眠リズムを狙って早めに出ると渋滞も少なく良かったです。

車で3時間はOKだった

1歳半で高山に車で。おじいちゃんおばあちゃんも一緒に2台で行ったので、飽きたら気分を変えるため、車乗り換えさせました。なかなかよかったです。私も。

車で3時間はOKだった

2歳半の長男と11か月の長女を連れて千葉のテーマパークに。電車大好きな長男は新幹線も電車も大人しく乗っていました。東京駅での乗り換えは長男はパパが抱っこ、長女は私がおんぶ。荷物は数枚のおむつとトサの着替えだけにして残りは全部送ったのが正解でした。

車で2時間はOKだった

2歳と0歳の子どもを連れて三重の実家へ。子どもが寝ている間に準備を終わらせ、出発直前に起こすので子どもの朝食は車内。車で2時間くらいならノンストップなので、長女のトイレと次女のオムツは乗車前に必ず済ましておきます。ウチは車内でDVDをかけておけば大丈夫♪

車で3時間はNGだった

大阪のテーマパークに4歳、2歳の子を連れていきました。行きは荷物と子どもの抱っこで大変でした。帰りは宅配便で荷物を送りましたが、行きも送ればと思いましたが。

車で3時間はNGだった

三重だし、比較的近だから...と思って日が暮れてから帰途へ。帰り道、夕飯食べてお腹いっぱいになった2歳半の娘は家に着く直前に嘔吐。慌てておむつを出したものの間に合わず。悲惨でした。

車で4時間はNGだった

2歳の長男と3か月の長女を連れて大井川にSLに乗り行った帰りに渋滞にハマりました。寝ている間はよかったけど長男は起きてからぐずぐず文句を言うし、家に着いてからも機嫌が悪くて大変でした。

車で6時間はNGだった

2歳の娘と5か月の息子を連れて、夜10時に千葉へ出発。子どもたちはなんだかいつもと違う様子に気付き、なかなか寝られず。その後、車に揺られて寝ついたものの、到着して駐車場で開園までの数時間待機のとときに二人揃って大泣き。トホホでした。

飛行機で2時間はNGだった

飛行機で北海道へ。着陸した際大泣きでした。空港に着いてからも大泣きで、泣き叫ぶ声が響いていました…。子どもは1歳8か月の時でした。気圧の変化で耳が痛くなるということは知っていて、お茶を飲ませたり、ゴックンして話したのですが、だめな時はだめなんです。

車で3時間はNGだった

滋賀の実家から日進へ戻るとき、0歳1か月で高速使って3時間。SAで授乳室がなく、車にカーテンもなく、駐車場の端の方に車を停めて授乳したら隣にバスが停まって団体客に見られた。タオルを隠しながらあげたけど、人目を気にせずちゃんと授乳できるように準備しておけば良かった。

車で5時間はNGだった

6か月の時に、仕事のため大阪まで一緒にいきました。運転手兼シッターでもちろんパパも連れて。帰りに渋滞にはまり、帰宅は夜に。泣き出したため、ひたすら食べさせ続けました…。平日の場合は、通勤ラッシュを考慮した移動が必要かも。



国際派ママに聞きました。

気圧の変化対策 気圧の変化で耳が痛くなるのを防ぐには、離陸の際おっぱい等飲ませていると大抵解決。最近はず付キャンディーを舐めさせることも。

食事対策 機内で出た食事を食べない時もあるので幼児食やタッパーに入れたカットフルーツを持参すると良いですよ。

手荷物について 一番気を遣うのが持ち物。手荷物は転がせるキャリーが楽。中身は予備の子どもの着替えとママの着替え、お気に入り玩具を数個、絵本も1冊用意。2歳過ぎからお絵描きやお絵描き帳に貼れるシールも常備。何度も貼り直せるシールは飛行機の窓に貼れて優れ物。新しい玩具は何をしても機嫌の悪い時の奥の手で用意。お菓子とおむつ何枚かを入れた子どものリュックは、なるべく自分で持たせている。リュックの中には子どもの名前と私の連絡先、近親者の連絡先を書いた紙を入れてある。装着の簡単なスリングは小さな子どもを抱えての移動に一番よかった。スリングの長い手はクリップを使えば授乳ケープにもなる。環境の変化でおっぱいが足りなかったら?そう考えて、ミルクも準備。役に立ったことが度々。

その他 飛行機の座席前にスペースのある席だと足下に小版のレジャーシートを敷いて簡易遊びのスペースができる。ベビーバネット(赤ちゃん用ベット)は良かったが、シートベルトサインが付く度に抱くのは大変だし、起こしてしまつて機嫌悪撃を受けたことも。

Profile

現在、2歳児のママ。欧州→日本間(計20時間程)の飛行機の旅をを毎年1回、欧州間の移動(平均4時間)はトータル20回位経験。母子二人での旅が主。

旅行の前にコレだけはやっておこう!!

POINT1 口コミも参考に!

旅行雑誌や旅行情報のホームページの口コミ情報も参考にしてみましょう。「子どもに対してこんなサービスをしてくれた!」とか、「これは助かった。」などの記載があることも。宿泊客にファミリーが多いのか、カップルが多いのか、なんていうのもチェックしておくといいですよ。

POINT2 宿泊先に確認しておこう!

- 子どもが食べられそうなものはある?
- 離乳食の持ち込みはできる?温めてもらえる?
- 部屋食?大広間?レストラン?どこで食事をするの?
- 和室?洋室?お布団で寝る?ベッド?
- 部屋風呂や家族風呂はある?
- おむつの取れない子でも大浴場はOK?などは、重要です。お腹が空いた、気持ち悪い、よく眠れないというのは大人も子どもも辛いですね。電話をして確認するとそのときの対応で子どもの宿泊に慣れているかも(なんとなく)分かります。

POINT3 スケジュールを見直そう!

細かく立てて見直す、「もう旅行やめよっか〜」となってしまうかねませんが、チェックインの時間やイベントの時間など制約があるのならぎつくりでいいので確認しましょう。特に第二子を持つママが口を揃えるのは「1人と2人じゃ全然違う!」車で移動する場合は、寝るタイミングが又したり、上の子のトイレと下の子の授乳の時間が合わずにSAをなかなか出発できなかったり。授乳やおむつ替えは車の中でもできるように、授乳ケープやおむつ替えシートなどは用意しておいた方がいいですね。

食事 外出先での食事があまり進まない子であれば、子どもの食事は追加せず、ラップとふりかけを持っていておにぎりにするとか、子どもの好きなパンをいくつか買って置いて食事兼おやつにするのも手です。食事をとる場所も、部屋食なら人の目は気になりませんが、つかまり立ちができるテーブルが低い分、机の上のものには手が届きやすいので注意が必要です。レストランであれば、他の宿泊客に気を遣いますが、子ども用の椅子が用意されていることもありどちらも一長一短ですね。

部屋 2歳前までは和室の方がベター。ベッドは万が一落ちる可能性があります。洋室しか取れない場合はベッドをくっつけて子どもを真ん中に寝かせましょう。

風呂 子ども用のバスタオルは用意されていないこともあります。また、備え付けの石鹸やシャンプーは肌に合わないこともあるので、持参しましょう。お風呂は部屋風呂か家族風呂がある方がいいと思います。大浴場に入る際はおばあちゃん等手助けしてくれる人がいるといいでしょう。私の場合はねんねの赤ちゃんを連れてのホテル宿泊で大浴場しなく、大泣きして、子どもにもパニックでした…。

荷物・その他 長時間の移動で子どもの気分が悪くなることがあるので、乗り物での移動中はなるべく大人が横についてあげられるとよいですね。最悪の場合、タオル・ウェットティッシュ・汚物をいれるビニール袋、消臭剤(制汗剤)、着替えなどはすぐ手の届く場所に準備するといひですよ。長時間のドライブの際は、子どもが好きな曲の入っているCDやDVD、絵本などがあればいいですね。手荷物は上記のものを含め、健康保険証や母子手帳など必要最小限でまとめて、旅行先で使うものなどは宅急便で送っておくと身軽で動きやすいですよ。年末年始の帰省で何泊かする予定なら、かさばるおむつは現地調達!

おススメグッズ トング。種やおかずの取り分け用に数人分作ったラーメンなどに、箸より便利です。さらに、揚げ物もちろん、肉や魚をフライパンで焼く時も、フライ返しより便利です。

PAPA★COLUMN

パパコラム

「My big girl」

今月は
ギリシア在住の
パパさんが
担当です



一人っ子の娘はもうすぐ3歳になる。急にお姉ちゃん気分で、おもちゃを相手に威張るようになった。お姉ちゃんの命令に従っているのか、「はい、わかりました」とおもちゃ達の小さな声の台詞を言っていたりする。

よく聞いていると、僕やママが普段褒めたり叱ったりする口調そのままを真似ているんだ。娘の台詞を聞きながら思い当たる節アリアリで、何とも気恥ずかしい。

My babyなんて言うおものなら、大変だ。知ってる言葉を並べて、とにかく反論する。ふくれて顔を背けてしまう事もよくある。「ふうちゃん」と呼ばば「ちがう、ふうおねえちゃん!」と訂正される。そして「ふうお姉ちゃんね〜」と自分を呼称する。パパもママも、おもちゃの熊さんもワンちゃんもウサギさんも、飼犬もみんな「ふうお姉ちゃん」と呼ばなければいけない。

一人遊びをしている時の会話は実におもしろい。あるおもちゃにはとても優しく、別のおもちゃには厳しく。そんな対応の違いも出来るようになったんだ。「どうしたの? 転んじゃったの? お姉ちゃんが治してあげるからね。はいお利口さん。もう大丈夫よ、よしよしよ。」

すっかりbig girlの口調。娘が正解かもしれない。もう赤ちゃんじゃあないんだ。でもね、パパにとってふうちゃんは、いつまでもMy babyなんだよ。

こそだて 絵日記

「見守られ育つ子に」

もうすぐ3歳になる長女は、0歳から保育所に入り、共働きの両親と、おじいちゃんおばあちゃん、保育所の先生方に育てられてきた。下痢も熱もみんなに心配され、歌も踊りもみんなに褒められ、成長をみんなに喜んでもらってここまで来た。ママはみなさまに大感謝。

それでも、人間らしくなってきたここに来て、戸惑うこともある。ママに叱られれば「じいじ〜♡」、じじに叱られれば「ばあば♡」と別の人のところへ逃げ込み、うやむやにになってしまう。その場で最も自分の味方になってくれそうな人を的確に察知して、取り入る。だからワガママい放題…。次女を出産して育休中、接する時間が増えたからか、気になってしまふ。そして、悔しいけど自問してしまう。私が働いていて、あまり一緒にいないから? 母子関係がしっかりしてないから?

そんな私にある日、母が一言。「子どもなんて勝手に育つものだから、庭は広くて、隠れ家、逃げ道もたくさんあった方がいいって。」…そんなものか。「ただしさ、あんたはおばあちゃんになったら孫の面倒みないとね。」そう付け加えて、ニヤリ。なるほどね。子育てはまだまだ先が長いね。孫育てしてあげればいいのか。

もうすぐ次女も同じ保育所に通い、また忙しい生活が始まる。ママはずっとそばにはいないけど、一応親のつもりで見守っているから、のびのびと、遅く、育っていきおくれ、娘たち。



速い逃げ足(笑)ア



年中の長女は小学校に入るために1人でいろいろできるように頑張っていると言う、その時の長女の顔は頼もしい。

母の悲鳴。見ると娘の口から青い唾液…。裁縫用の青いチョークが口の中から登場。なかなかホラーな映像だった…。

娘がなにか黒いものをつまんで口へ。探ってみたら既にお亡くなりになっていたニホシテントウムシだった。

娘さん、それは紙じゃなくてソファなの。白いからって間違わないで〜!!

工事車両系が大大大好きな息子。ショベルカーなどがどんなに速くあっても、どんなに一瞬しか見えなくても見つけて「〇〇いた! いた!」と大興奮…。すごいセンサーだなあ。



えほん 紹介

「エンソくん きしゃにのる」 (〜3歳ぐらいから〜)

エンソくんは、ほげたまちの駅からひとりで汽車に乗って、おじいさんの待つ田舎へ遊びに行きます。緊張しながら切符を買って3番線へ向かいます。乗り込むと、切符を買うときにいたおばさんが座っていました。間もなく汽笛をポーッととならし、汽車は動き始めます。高原の駅ではたくさんの羊が乗ってきます。エンソくんが買った駅弁は羊のかたちのコロッケでした。ひつじといっしょに食事をすると、やがて汽車は終点到り着きます。



「エンソくん きしゃにのる」
スズキコージ 著
福音館書店 1986年

いきいきと描かれた絵を隅々までみていると、いつ読み返しても新しい発見があって、まるで動画のように見えてくるから不思議です。迷い込んだ先には、スズキコージの素晴らしい世界が広がります。(仁)



Q. 「我が家の風邪対策」

(ふあまっぷアンケートより)

- A.** ★風邪をひいているときの子どもの残置物は食べない。逆に風邪をひいている大人が使った食器をそのまま子どもに使わせない。じいちゃん、ばあちゃん要注意!(Q)
- ★湿度は目安60%かな。手洗いうがい。風邪をひく前触的なものがあるので、その症状が出た時に早めに対処する。(たとえば子どもは耳鼻科に行く)子どもは幼稚園に入ってから風邪に負けないからだになっている。(古)
- ★風邪注意報が出る季節に、人混みの中へ行くときはマスクをつけています。あと、ホットレモン、生姜湯は欠かせませんね〜。(相)
- ★外出後は手洗いうがい。必要なければ人ごみにもまれる外出はしない。弱った時は大人も子どもも睡眠最優先で、なにはともあれ寝ます。(広)
- ★殺菌作用があるらしいので、就寝時にユーカリのアロマオイルを炊いています。(杜)
- ★帰宅したらすぐ手洗いうがい。就寝時はタートルネックのパジャマかスカーフを巻いて喉を保護します。喉が痛くなってきたら100%レモンを蜂蜜とお湯割して飲みます。(田)

※蜂蜜は1歳までは与えないようにしましょう。

日進 図書館 情報

図書館じどう書架受付の後ろの棚にふあまっぷバックナンバーがファイリングされています。こちらも活用してくださいね!!

☎0561-73-4123

読み聞かせ・お話し

2〜3歳の幼児向け/毎週水曜日午前11時〜11時20分
幼児〜小学校低学年向け/毎週土曜日午後2時〜2時30分

休館日 12/2(木)、6(月)、29(水)、30(木)、31(金)

一部休館日(玄関ホール、1階会議室のみ閉館)

12/13(月)、20(月)、27(月)

広報にっしんを
活用していますか?

毎月1日号の「子育てナビ」のページには、子育て情報が掲載されています。ぜひチェックして、活用してください。

にっしん子育てナビ 「ふあまっぷ」

【発行】日進市福祉部児童課
日進市蟹甲町池下268 TEL/0561-73-1049 FAX/0561-72-4554
【編集】NPO法人ファミリーステーションRinとでんふあまっぷ
日進市岩藤町陸見63 TEL&FAX/0561-56-1150
e-mail/rin@npo-rin.net

◆発行部数/月刊2000部(毎月月初め発行)

◆ふあまっぷは、市内公共施設、

ご協力いただける民間施設にて無料配布しています。



ふあまっぷに情報を載せてもOKというグループ、団体等を募集しています。ふあまっぷは、市内在住・子育てまっ最中のでんでんふあまっぷが作っています。毎月編集会議を行っています。是非あなたも参加してください。お子様連れ大歓迎です。ファミリーステーションRinまでご連絡お待ちしております。